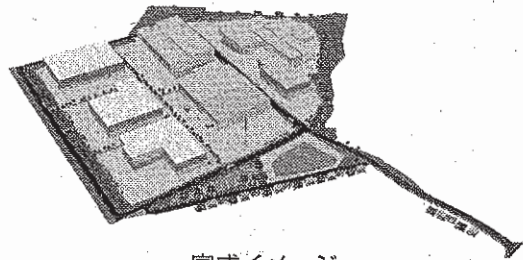


エム・ケーの明治大  
 菅田農場跡26ヘクタール造成



完成イメージ

# 大林道路で下旬着工

## 製造業中心に企業誘致

ヘッドリース事業などを手がけるエム・ケー(東京都日野市)は、明治大菅田農場跡地(千葉市)約26ヘクタールを産業用地に開発するプロジェクト(仮称)ネクストコア千葉菅田」の造成工事を大林道路で進める。1月下旬に着工するとともに分譲受け付けを開始する予定だ。近隣の住宅地などに配慮し、製造業を中心に企業誘致する考えで、2020年度に分譲完了を目指す。

田駅や千葉外房有料道路高田ICに近い千葉市緑区菅田町2-22ほかの26万0768平方メートル。市街化調整区域内にあるが、地区計画で建ぺい率60%、容積率200%に指定されている。区域のうち17万8783平方メートルは宅地として整備し、大半を工場用地に充てる。住宅地に面する東側は物販店舗用地とする。地区計画における工場用地側の土地利用方針は、環境負荷の少ない製造施設

設や研究開発施設を主体とした土地利用を誘導する内容となっている。

このほか、3万8787平方

メートルに緑地1・管理用通路、2万3338平方メートルに道路、1万0242平方メートルに公園1・2、7218平方メートルに調整池(1373平方メートルの緑地2含む)を設ける。市立菅田中学校に面する484平方メートルは市に寄付する。

総事業費は約51億2900万円。千葉市に帰属することになるインフラの整備については、市が建設負担金として最大10億円負担する。

開発行為の設計は八千代エンジニアリングが担当した。